

天疱瘡・自己免疫性表皮下水疱症の検査のご案内

合同会社ノーバウンダリーズ動物病理

【対象】

- ・臨床経過、治療経過から天疱瘡・自己免疫性表皮下水疱症が強く疑われる犬

【検査の流れ】

1. 弊社にご連絡いただき、病態、検体送付方法、料金等についてご相談およびご説明
電話 080-8904-3988 または 042-315-4092
メール info@no-boundaries.jp
2. 弊社よりマニュアルと生検キットを貴院に送付
3. 貴院にて検体を採材・処理し、元払いで発送していただく

凍結検体

- ・必ず事前に生検日を弊社にご相談ください。検体受け取りは大学の稼働日(原則として平日)に限ります
- ・返送用の発泡スチロール箱とドライアイスは、お手数ですが貴院にてご用意ください
- ・生検当日に凍結検体を冷凍宅急便にて東京農工大学（宛先は下記参照）へお送りください
- ・検体とともに、記入済みの組織病理検査依頼書のコピーを同封してください（原本は貴院で保管ください）
- ・発送後速やかに到着予定日と宅急便追跡番号（問い合わせ番号）を弊社にお知らせください

ホルマリン固定検体

- ・ホルマリン入りの容器を生検キットに同封しますので、お使いください
- ・1容器につき検体を1個入れ、採取部位がわかるよう必ず目印をつけてください
- ・ホルマリンの漏出には厳重に注意してください（キャップをしっかりと締め、テープで固定してください）
- ・検体とともに、記入済みの組織病理検査依頼書のコピーを同封してください（原本は貴院で保管ください）
- ・宛先は弊社となりますので、検体は絶対に凍結させず、常温の郵便あるいはメール便で発送してください（返送用封筒をお使いください）

<おことわり>

凍結検体、ホルマリン固定検体ともに、貴院での採材・処理・発送・連絡の不備によって検査結果に生じた悪影響に関して、弊社ならびに東京農工大学農学部獣医学科獣医内科学研究室は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

4. 検査実施
5. メールによる検査結果のご報告（通常3週間以内）。メールアドレスを依頼書でお知らせください
6. ご精算（ご請求書を貴院へ郵送いたします）

【凍結検体の冷凍宅急便宛先】

〒183-8509

東京都府中市幸町 3-5-8

東京農工大学農学部獣医学科獣医内科学研究室

電話 042-367-5777

【ホルマリン固定検体の宛先】

〒183-0053

東京都府中市天神町 3-16-2 パレススメール 1 階南側

合同会社ノーバウンダリーズ動物病理

電話 080-8904-3988

【生検キット同封品目】

- 凍結検体作製マニュアル
- 包埋剤（OCT コンパウンド、点滴瓶 1 本）
- 包埋皿（予備を含め 3 枚）
- ホルマリン入り容器（予備を含め 5 本）
- 組織病理検査依頼書（足りない場合は弊社[ホームページ](http://no-boundaries.jp/)（<http://no-boundaries.jp/>）よりダウンロードできます）